

2013年9月25日発行

# NGO 神戸外国人救援ネット・ニュースNo.45

NGO Network for Foreigners' Assistance KOBE NEWS No.45



発行/NGO 神戸外国人救援ネット(代表/飛田雄一)

〒650-0004 神戸市中央区中山手通 1-28-7 TEL&FAX:078-271-3270

ホットライン専用 TEL:078-232-1290

E-mail:gqnet@poppy.ocn.ne.jp \* <http://www12.ocn.ne.jp/~gqnet/>

郵便振替<01100-2-60701 NGO 神戸外国人救援ネット>

## ★ 巻頭言★

### 第9回移住労働者と連帯する 全国フォーラム・神戸 2013 を終えて

中嶋孝幸(甲南大学)

第9回移住労働者と連帯する全国フォーラム・神戸 2013 共同代表

「私たちがつくる多民族・多文化共生社会」を中心テーマに、2013年6月15日(土)16日(日)の2日間、神戸市東灘区の甲南大学において全国フォーラムが開催されました。多民族・多文化共生に関わるさまざまな組織・グループの人たちが全国から一堂に会し、外国人の人権保障、外国人支援、多民族の共生をめぐって話し合いがなされました。

共同代表の一人として会場校を引き受けたのは開催の一年ほど前のことで、その後、開催8か月前の2012年10月15日には、50近くに及ぶNGO関係団体によって組織された「実行委員会」の結成集会が行われ、そこから開催に向けて具体的話し合いがスタートしました。事務局である神戸学生青年センターの飛田雄一さんのリードで会議は毎月一回定期的に積み重ねられました。その会議では毎回必ず一定の時間をとって、それぞれの団体代表の自己紹介や団体の活動内容紹介が行われました。これは、フォーラム開催という同じ目標に向かって集まる人たちがこの機会にお互いを知り、フォーラムが終わった後も連携していこうという、事務局長・飛田さんの配慮と感じ取れました。2日間のフォーラムはもちろん根幹部分ですが、私には、その2日間に向かって、テーマの題目を何にするか、分科会として何を設定するか(結局分科会は14会場に)、基調報告の言い回しをどうするか、といった細かな議論を繰り

返す過程の中で、問題の本質が見えるようになり、関係者みんながどれほど熱意をもってこの問題に取り組んでいるかが伝わってきました。

フォーラムに関わる実際の作業、たとえば資料集の製本、当日の受付、会場案内、保育(子供の一時預かり)、通訳等は、すべて実行委員会を構成する団体メンバーが行い、チームワークの強さを示しました。一日目のシンポジウムと14分科会の内容については、ここでは紹介しきれず、当日の資料集か、終了後の報告書によってもらうしかありませんが、一日目終了後の懇親会では、ペルー音楽のアトラクションを含め、全国から集まった多くの人たちが交流、情報交換を行い、二日目の、もりきかずみ氏の企画・司会による、日本で暮らす多民族・多文化のルーツをもつ10人によるスピーチも、それぞれ非常に興味深く、さまざまな問題を具体的にありありと提示してくれるものであったことを、是非ここで紹介しておきたいと思いません。

今回は、甲南大学において心地よく活発な議論を進めていただくことができるよう努力したつもりです。甲南大学を舞台として、このような有意義な催しが開催できたことは光栄であり、これを機会に地域のさまざまな問題に取り組む方々と連携を深めていくことができればと考えております。

～全国フォーラム・神戸 2013 報告書まえがきより、転載させていただきました～

## 第9回移住労働者と連帯する全国フォーラム・神戸2013 終了いたしました。

第9回移住労働者と連帯する全国フォーラム・神戸2013～私たちがつくる多民族・多文化共生社会～が6月15日(土)～16日(日)、甲南大学にて開催されました。神戸だけでなく、京阪神の外国人支援に携わるグループが集まり、実行委員会を組む、1年以上前から準備を始めたフォーラムを無事終えることができました。救援ネットニュースレター45号は神戸フォーラム特集です。

\*\*\*\*\*

### おおむねうまくいきました / 飛田雄一（実行委員会 事務局長）

フォーラムが成功裏に無事終了した。ホッとしている。参加者490名、多くの個人/団体に支えられて赤字もなし。実行委員会は、NGO 神戸外国人救援ネットなど48団体、共同代表は、中島孝幸、ロニー・アレキサンダー、丹羽雅雄の3名、事務局長は私が担当した。以下、いくつかの事柄をメモ的に。

<総合司会>KFC のフッデルゲルさんと Facil の田村さん、衣装もばっちり決まって大好評。

<会場>甲南大学の中島さんの尽力により準備/本番とも上出来。メイン看板の横幕看板も少々大きすぎましたが職員の方々が工夫して貼ってくださった。感謝14の分科会が2フロアにまとめられたのが最高だった。

<日本語>A4、152頁の資料集。分科会を資料集めにハシゴする必要もなく好評であったが、日本語のみ。せめてホームページにアップした多言語の開催要項を収録すべきだった。残部あり、購入希望者は送料とも1080円を郵便振替00980-4-282566「2013神戸フォーラム」へ。

<申込>今回、申込をFAX、メールで受けたが受付名簿は作らなかった。申込んだのにとお怒りの参加者もいたが、これがおおいに省エネフォーラムにつながった。

<ゲリラ豪雨>少しあったがすべて会場内での行事時だった。

<後援>神戸新聞だけでええやんという事務局長案は否決されサンケイも含めてゲットした。

<託児>少数精鋭で子どもは大満足。担当のYMCA、YWCA ごくろうさまでした。

<懇親会>ペルーのミュージシャン「ドゥオフローレス」もすてきで、大いに盛り上がった。ベジタリアン、イスラム用のハラールフードも準備できた。でも、食べものが不足気味で早々と他宗教信者の胃袋に？入った。

<次回>フォーラムは2年後、九州です。気楽に？参加しましょう。失礼しました。



## 全国フォーラム分科会について / 嵩本郁

今回の全国フォーラムでは 14 の分科会を開催しましたが、実行委員会でどのような分科会の構成にするのか検討するに際して、これまで開催された 8 回の全国フォーラム、9 回の全国ワークショップ（以前は全国活動者会議といっていました。）でどのような内容の分科会が行なわれてきたのかを調べてみました。（一覧表の通り）

1996 年の第 1 回全国フォーラム以来 17 年、それぞれの時期を反映した分科会の内容になっているとともに、分科会名は違ってはいるが初期から継続して開催されている分科会もあります。今回は、それらの分科会を基本に、最近の状況、地域性を踏まえながら分科会の構成を議論し、今回の 14 の分科会となりました。また、分科会名についてはできる限り内容がわかるようにしようという意見に基づいて決められました。分科会の一覧からはこれまでの全国での取り組みの内容が見えてきますので、ぜひじっくりご覧になってください。

## シンポジウム②「これが言いたい！日本で暮らして」 / もりきかずみ

フォーラム 2 日目のシンポジウムは、日本で暮らす、多民族・多文化のルーツを持つ 12 人が 1 人ずつ壇上にあがって「ホンネ」を話すという移住連フォーラムはじめての試みでした。予定していたブラジル人女性が出席できず、急きょ会場の参加者にピンチヒッターをお願いし、引き受けていただいたり、フィリピン人女性の報告の後には彼女の歌声が流れるなど、様々なハプニングがありました。コメンテーターの 2 人を加えると、1 人 8 分くらいの持ち時間の中で、みなさん、適格にスピーチしてくださり、日本社会でそれぞれが遭遇した異なった経験を会場の参加者とともに共有できる時間を持つことができましたと思います。簡単にスピーチの内容をご紹介します。

- ・在日コリアン 3 世 神戸大学大学院 <特別永住資格を持つ自分自身と、ニューカマー外国人の違いと次世代への思い。>
- ・華僑 5 世 市立こうべ小 臨時講師 <華僑の日本での生活の変化、帰化について。>
- ・ベトナム人コミュニティ「ベトナム夢こうべ」代表 <コミュニティから見える親子のコミュニケーションギャップ>
- ・アジア料理 CASA スタッフ(フィリピン料理担当)フィリピン人女性 <日本に来てからの困難、4 人の息子達、新しい生活。>
- ・「神戸外国人救援ネット」通訳 フィリピン人女性 <フィリピンで夫から DV を受け、10 年前新たな生活を求め単身で来日。いつも神様に守られている。>
- ・南米移民の日系人 労働組合「神奈川シテユニオン」 <外国人の労働と権利獲得のために労働運動に取り組んでいる。連帯することでみんなに勇気を与えたい。>
- ・コートジボワールからの留学生、就活中 <ルール・法律を作る際、人にどういふ影響を与えるか考えなおしてみよう。日本に留学したが奨学金がなく、夜の店で働いて強制退去になった女性の悲劇。>
- ・ミックス・ルーツジャパン代表 <異文化間パートナーの第二世代のアイデンティティの複雑さ、その障害とは、解決策は。>
- ・中学校の英語教師(ALT)オーストラリア人 <コミュニケーションは、挨拶から。外国人が日本で暮らすことは大変、でも友人・支援者がいると楽しい。>
- ・JFC(ジャパニーズフィリピンチルドレン)として JFC の研究者、大阪大学 招へい研究員 <日本人父とフィリピン人母の間に生まれ、それが今の自分のテーマになっている。>
- ・関西学院大学大学生 <難民の子として日本で暮らして—無国籍の現実—>



JFC として JFC 問題をスピーチ



熱心に耳を傾ける参加者たち

## 全国フォーラムを終えての感想 / 草加 道常

フォーラムを終えてほっと一息つくと、いろいろ苦労したことが消え去っていく。しばらくの間は達成感で充足されているが、やがて不十分な点や不備が思い返されてきて苦いそして重い記憶がよみがえってくる。その記憶も時間の経過とともに薄れていくので、ここで書き留めておくことにした。

「移住労働者と連帯する全国フォーラム・神戸 2013」ではいくつかの試みが行われた。その第1が事務負担の軽減であり、第2はそれに伴う予算の縮小だった。これは実行委員会の規模が大きくなって開催できるということを示した。これまで全国フォーラムは開催地での移住者支援団体などがある程度の数と規模のあることが必要だと思われていた。この基準を大幅に下げることができたのではないだろうか。第3は移住者当事者の主張の場をつくることだった。

そして、これらをメインテーマである「私たちがつくる多民族・多文化共生社会」につなげることが求められた。「私たちがつくる」というのは政府の社会統合政策やその基礎となる「新しい在留管理制度」ではなく、日本に定住する権利、就労する権利を認めた安定した在留権とその上に築かれた様々な権利を承認した多民族・多文化共生社会であった。名前ばかりの7年ごとに更新が必要な「永住者」ではない、取り消されることのない権利としての文字通りの「永住権」のある社会だった。

開催地実行委員会は神戸のネットワークで担い、大阪、京都の団体にも協力してもらいながら進められた。神戸のネットワークは阪神淡路大震災の時に作り上げられたものがベースにあり、おおむね予定していた団体の参加で構成された。

また一方で課題も示された。多言語対応の問題である。実行委員会ではWEBサイトでは多言語対応をしていたが、それを配布文書にできなかったことだった。ただし以前の全国フォーラムとは異なり、各分科会のレジュメを実行委員会一括して印刷したため150頁ほどの分量があった。

それとウイスピーングでの通訳よりレシーバーでの同時通訳がよいとの意見もあった。この変更は予算縮減に大きな影響をあたえるため、どうするかは十分検討することが必要だろう。

多言語対応はこれからのフォーラムには欠かせないものなので様々な方法を検討して実現していくが求められる。

宿題は残ったが、全体として「移住労働者と連帯する全国フォーラム・神戸 2013」は成功裏に終わったといえるだろう。



## チャーター機による強制送還についての「入管ウォッチャーズ」の抗議文

法務省入管局は、2013年7月6日に退去強制令書の発布されている75名のフィリピン人を、日本航空のチャーター機で強制送還した。

この退令執行は被拘禁者保護原則（1988年）原則16の1及び4に抵触するものである。また家族分離が全く行われていなかったか、子どもを含む家族は、子どもの権利条約に反する強制送還でなかったかも問われている。

子どもの権利に反する送還であっても、従来から入国管理局は「子どもと親を分離しないために」という理由で、子どもの権利を侵害してまで親とともに強制送還することを行ってきた。

今回の退令執行は被拘禁者保護原則、子どもの権利条約、自由権規約などに反するもので、移住者・難民の権利を奪ったものといえる。

入国管理局は、ただちにチャーター機による強制送還を中止し、その上で今回のチャーター機による強制送還によって国際人権条約などに違反する人権侵害行為が行われたかどうか、強制送還された一人ずつについて調査、検証することを求めるものである。

2013年7月8日

法務大臣 谷垣 禎一 様

入管ウォッチャーズ  
(RINK、シナピス、神戸外国人救援ネット)

## ◆◆外国人のための無料法律・生活相談会◆◆

日時: 2012年10月13日(日) 11:00~15:00

場所: 深江会館 神戸市東灘区深江本町3-5-7 (阪神深江駅南へすぐ)

対応言語: 英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、日本語

相談内容: 在留資格、婚姻、社会保障、労働、医療、DV、教育、住宅、その他 **弁護士相談可**

主催:NGO神戸外国人救援ネット 協力: 多文化共生センターひょうご (相談無料・秘密厳守)

日時: 2012年10月20日(日) 10:30~15:00

場所: カトリック尼崎教会 尼崎市北大物16-12 (阪神尼崎駅北東へ約15分)

対応言語: 英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、日本語

相談内容: 在留資格、婚姻、社会保障、労働、医療、DV、教育、住宅、その他 **弁護士相談可**

主催:NGO神戸外国人救援ネット 協力: カトリック尼崎教会 (相談無料・秘密厳守)



その他 12月~3月にかけても無料相談会を各地で開催予定です。  
詳しくはHPをご覧ください。

## ～シリーズ～ 協力弁護士さんの横顔

神戸外国人救援ネットにやってくる相談でとても重要なのが法律上のサポートです。救援ネットには「協力弁護士」として19名の弁護士の先生が携わってくださっており、日々、相談者のサポートをしてくださっています。このコーナーではそんな弁護士のみなさんの「横顔」を紹介しています。

### 第六回目：平野晃子弁護士（くすのき法律事務所）

はじめまして。弁護士の平野晃子と申します。協力弁護士の「横顔」ということで、毎回、各弁護士の個性溢れる自己紹介を楽しく拝読していたところ、今回の原稿執筆の依頼を受けた際は、ついに私に順番が回ってきてしまった、面白い「横顔」なんて持ち合わせていないのに何を書こうと大いに悩みました。



前回のニュースレターでは桑原弁護士がランニングについて書いておられ、私もランニングはするのですがハーフマラソンに数回出場した程度ですし、桑原弁護士とネタがかぶるため却下し、他に自分の趣味を洗い出してみたのですが、スキューバダイビングは弁護士になってから潜っていないし、料理教室や着付け教室も、通ったものの女子力に変化が見られないためネタとして不採用となりました。

前置きが長くなりましたが、結局、私の生い立ちから弁護士になるまでを振り返って書くことにしました。

私は、神戸近隣で生まれ育ち、大学時代は京都で過ごしました。法学部に在籍していたため周囲は2回生くらいから司法試験の勉強を始める人が多かったのですが、当時は弁護士になりたいという気持ちはなく、アルバイト等に明け暮れて卒業と同時に民間企業に就職しました。会社員時代は、法務部に所属し、社内から寄せられる相談事や訴訟の対応、契約書の作成等に携わり、よく弁護士事務所に行って相談もしていました。会社の仕事も充実したものでしたが、一方で、困っている人の役に立つ仕事がしたい、もっと社会の役に立っていると実感できる仕事がしたいと思うようになり、弁護士を目指すことにしました。退職を機に関西に戻り、現在、神戸で弁護士として仕事ができることを有難いことだと感じています。

今回、弁護士になるまでの経緯を振り返って、改めて初心を忘れてはいけないと思いました。会社員時代は、弁護士事務所に行く時はいつも緊張して、消化不良のまま帰ってくることも多々ありました。当時のことを忘れずに、依頼者の声に誠実に耳を傾ける敷居の低い弁護士でありたいと思います。まだまだ未熟者ですが、今後とも宜しくお願い致します。

## —NGO 神戸外国人救援ネット主催学習会—

外国人支援活動に必須の法・制度とその実際を学び最新の情報にアップデートしませんか？  
昨年に続き今年も学習会を開催します。外国人支援関係者、外国人の方など下記テーマに関心のある方は是非ご参加ください。

### 第1回 テーマ【フィリピン人コミュニティ】

講師：小島祥美氏（愛知淑徳大学）

林田マリトニ氏（NGO神戸外国人救援ネット タガログ語通訳者）

日時：11月9日（土） 13:30～16:30

会場：勤労会館 405（神戸市中央区雲井通 5-1-2） 参加費：500円

### 第2回 テーマ【改定入管法】

講師：草加道常氏（NGO神戸外国人救援ネット/RINK）

日時：11月30日（土） 13:30～16:30

会場：勤労会館 406（神戸市中央区雲井通 5-1-2） 参加費：500円

※上記催しに関するお問い合わせは救援ネット事務局まで。

## 主な事務局活動

\* 毎週（月・水）事務局開所、（金）多言語生活相談ホットライン

### 2013年

4月8日（月）GQ ネット運営会議

4月15日（月）移住連全国フォーラム・神戸 2013 事務局会議

4月24日（水）ひょうご DV 被害者支援連絡会議 定例会

5月8日（水）

5月13日（月）GQ ネット運営会議

5月20日（月）移住連全国フォーラム・神戸 2013 事務局会議

6月1日（土）移住連全国フォーラム・神戸 2013 事務局会議

6月15日（土）～16日（日）第9回移住労働者と連帯する全国フォーラム・神戸 2013 開催

7月8日（月）GQ ネット運営会議

7月24日（水）ひょうご DV 被害者支援連絡会議 定例会・懇談会

8月28日（水）ひょうご DV 被害者支援連絡会議 懇親会

## 事務局活動時間について

事務局：月・水 13:00～18:00

生活相談ホットライン：金曜日 13:00～20:00

英語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、日本語、中国語（※中国語のみ18時まで）

NGO 神戸外国人救援ネットの活動は皆さんからの会費・カンパによって支えられています。  
今後ともご支援とご協力のほどもよろしくお願いいたします。

郵便振替＜01100-2-60701 NGO 神戸外国人救援ネット＞